

平成25年度知事と県民の意見交換会概要

テーマ：地域の伝統・文化を活かしたまちづくり

日時：平成25年7月25日(木) 13:40～15:15

場所：秋田公立美術大学 レストハウス

※意見交換に先立って、同キャンパス内にて、生徒の作品や作業現場を見学。

(A 氏)

男鹿市出身。隣接する附属高等学院で学んでいたインテリアデザインに興味を持ち、大学でも勉強したいと思っている。

(B 氏)

福島県会津出身。高校では陸上部と卓球部に所属し、美術は趣味でやっていた。美大ではしっかり勉強して就職に役立てたいと思っている。

(C 氏)

兵庫県明石市出身。高校から美術を学んでいる。ガラスの勉強ができる公立大学ということで、この大学に進学した。

(D 氏)

能代市出身。高校のときに美術をやっていた。また、地域ボランティアなど地域貢献にもとても興味がある。この大学ではいろいろなことが出来るということで進学した。

(E 氏)

山形県山形市出身。中学2年生の時からデザインを学びたいと思っていたので、短期大学の当時からこの大学を目指していた。現段階ではデザインの仕事を狙っているが、4年制になったことで学べることも多くなったので、学んだことをどんどん活かしていきたい。

(F 氏)

山梨県上野原市出身。小中高はスポーツばかりしていた。昔から趣味で絵を描いていたが、それを趣味で終わらせたくないと思いここに来た。デザインを勉強していきたい。

(知 事)

私は4年半前まで秋田市長を務めており、当時は入学式や卒業式、学校祭によく来ていた。実はここは歴史が非常に古く、短大になる前はいわゆる美術専門校のような形であった。私の市長時代に4年制大学への移行の話が出ていたが、新しい市長が4年制大学移行を選挙公約で掲げ、それが実現し、そこへ皆さんに入っていたいただいたことになる。

今日は皆さんから、秋田のまちをどう感じているか、将来どういう仕事をしたいか、秋田の印象、あるいは今住んでみて困っていること、皆さんなりのアイデアなどについて聞

かせてもらいたい。

地域づくりには、これまで歴史を重ねながら形成されてきた中に、新しい血を入れていかないと、その永続性や魅力というのが出てこない。やはり若い人たちの様々なエネルギーが必要であり、また、若い人たちが住んで楽しいという土地は、いろいろな面で発展の可能性がある。

私が生まれた昭和22年は、日本が戦争に負けて焼け野原となってから、皆さんの祖父母の年代の人が苦勞して日本の復興を成し遂げた頃である。当時の日本の復興は、世界でもまれに見るスピード感にあふれ、近代的な産業の芽生えも極めて多く、日本は産業の最先端をずっと走ってきた。しかし、ここへ来て、世界の経済競争が非常に激しく、更には人口減少、少子高齢化時代を迎えており、今までの製造業を中心とする地域の振興だけではたち行かなくなってきた。

日本には古い歴史があり、その中に新しい感性を入れていかなければならない。例えば、ヨーロッパの小さな国のまちなみなどは、古さと新しさをうまく融合して文化的な雰囲気があり、世界からは魅力的に見られているので観光が成り立っている。これからは全て近代的なものではなく、文化芸術というものをもっとまちづくりや我々の日常生活に取り入れて、快適な生活、楽しみなどを求めなければならない。自然を無視したギスギスした産業社会の中では、もっと内面的なものを表に出し、バランスをとれるようにしないとけない。

このような中で、秋田に東日本で唯一の4年制の美術大学が出来た。県議会からもこの大学に対して期待が寄せられており、例えば、秋田駅前から川反通りに彫刻を並べるなどして、文化芸術の香りを持たせるまちなみや、楽しく歩けるようなまちづくりの話が出ている。また、国民文化祭が来年秋田で開かれることから、特に文化芸術に近い立場にある皆さんから話を聞いて、活かしていきたいと思う。

(D 氏)

秋田には行事や伝統工芸など良いものがたくさんある。しかし、他県から来た大学生には意外と分かってもらえていないものがあつた。もっと知ってもらいたいと思う。

(A 氏)

高校のときから昔のものを活かした作品づくりをテーマにしているが、他県に比べ、秋田は昔のものを大事にした生活をしているところがあると思う。それから、地元にある「なまはげ館」は、ナマハゲの伝統を見たり体験することができるとても良い施設だと思っているが、他県出身の大学生には知られておらず残念に思った。

(B 氏)

地元の会津では、会津塗やあかべこ、絵ろうそくなどの様々なジャンルの伝統工芸がつかられており、鶴ヶ城も含めて統一されたまちづくりの印象ができていると思う。

秋田の伝統工芸は、地味でアピール力が余りないと思っていたが、ナマハゲなど実際に生で見た際に、伝統的な華やかさや躍動感など、思っていた以上に心が動いた。もっと県外に赴いて、「秋田県にはこういうものがある」とアピールしていけば、今後絶対に秋田が盛り上がっていくのではないかと。

(C 氏)

以前は神戸のすぐ近くに住んでいて、秋田のことは全然知らなかった。桜の樺細工が凄

く素敵で、ガラスに包んだ作品をつくってみたいと思った。また、豊富にある木材を使った工芸品もやってみたいと思っている。

(E 氏)

秋田には、米や秋田スギなどの凄く良い素材があり、「秋田」というスタイルが完成していると思う。それを自分たちがどう活かせるかというところだと思う。

(F 氏)

自分が住んでいた地域には文化的なところは余りなく、富士山が近くにあることくらいである。秋田は工芸が多くあると思うが、PR力が足りないのではないか。また、祭りを盛り上げるためにも、多くの人が気軽に来られるくらいに交通の便を良くして欲しい。移動のしやすさの面で快適さが足りないと思う。

(知 事)

東北全般に言えるが、首都圏に比べてアクセスが良くない。昔はこの辺りからもバスが多く出ていたが、今は乗る人がいないため少なくなっている。

川連漆器、角館の樺細工、大館の曲げわっぱ、そして五城目の杉桶樽の4つが国指定の伝統工芸品であるが、伝統工芸は全国的に非常に苦しい状況にある。戦後、暮らしの中に安い洋風のものを取り入れてきたため、伝統工芸そのものを日常の中で使わず、飾り物にしてしまったからである。今は戻りつつあるが、伝統工芸を美術品のようにしてしまったので、高くて買えないし日常で使うことができない。

ほかに、秋田にはお祭りの類として、重要無形民俗文化財が全部で16あり、日本で一番多くある。このほとんどが江戸時代からの原型がそのまま残されていて、地元の人結構楽しんでいっていると思う。しかし、首都圏あるいは大阪圏、名古屋圏を中心にそれらの宣伝をやってきているが、一般的にPR不足であったり、インパクトのある話題性のあるものが少なかった。

皆さんは将来何になりたいのか。また、美術大学は他にもたくさんあるが、なぜここを選んだのか。

(A 氏)

具体的にはまだ決めていないが、インテリアが好きなので、家や建物に関する仕事が将来できたらと思う。

(B 氏)

地元でも伝統工芸は衰退気味であり、飾りにはなるが買われなくなった。だからこそ新しい発想で、何かを融合して、今までになかった形で生み出せればと思う。また、秋田の伝統工芸の継承についても少し気になっている。

(知 事)

会津は、まちと伝統工芸が非常にうまく解け合っていて、まちのイメージが伝統工芸のイメージを、伝統工芸のイメージが町のイメージをなしており、お互いに補完している。東北の中ではユニークなまちで、あのようなところはなかなかない。

比べて、秋田市には古い建物が余りない。これは、太平洋戦争で焼け野原になった東京で、新しく家を建てるための木材が必要となったが、秋田は木材の産地であった。そして

秋田では米や石油が採れ、他にも、銅、鉛、亜鉛など工業材料もたくさん採れた。こういう必要なものが秋田には全部あり、非常に豊かであったため、急に近代化をしてしまい、建物が新しい鉄筋コンクリートになってしまった。対して、角館には古い建物が残っている。資源が乏しく、新しいものにできなかったために必然的に残っただけのことであったが、昭和40年代になって、急に、古いものが観光のターゲットとなり、残ることとなった。角館には樺細工もあり、会津のような伝統工芸とまちが解け合った雰囲気が若干あるが、歴史的な中で形づくられるものであるため、雰囲気を生み出すのは非常に難しい。しかし、今、政府では、伝統的なものを「クールジャパン」としてもう一度見直して出していこうという方針になってきているため、どう位置づけていくか大切な時期にある。

(C 氏)

小牟禮先生がこの大学にいると知り、この先生にガラスを学んでガラス職人になりたいと思って来た。秋田の木の工芸は非常に魅力的である。小さい頃から細かいものをつくるのが好きで、木の工芸へも進んでいきたいと思う。

(D 氏)

秋田は良いところが知られていないというもどかしさがあるので、PRをするデザイン系に進もうと思っている。また、伝統を受け継ぐ技術等も学校で学んでいきたい。

(E 氏)

イラストレーターになりたいと思っている。中学生のときに描いた国勢調査ポスターで総務大臣賞を頂き、当時の総務大臣と話をしたことがあったが、日本という大きな枠組みで考えて、「日本といえば何」というものを全て集めて日本という形にするというのが良いと思った。秋田の素材は凄く絵になりやすい。PRして秋田を売り込んでいければいいと思う。

(F 氏)

芸術というよりはアニメや漫画に関心があった。漠然と絵を描く美術の仕事がしたいと思っている。ここでは、いろいろなものを吸収していきたい。

(知 事)

最終的にどのような専攻を選ぶかは、1年生なのでまだ時間がある。いろいろと勉強して欲しい。県外出身の方は、自炊してみて秋田の食はどう感じるか。

(B 氏)

あきたこまちは美味しい。ハタハタも美味しくて飽きることがない。

(C 氏)

食べ物は全体的に甘辛い。醤油も関西と違う。うどんの出汁が甘辛くて驚いた。また、コンビニのおにぎりののりが、味付けのりではなかった。

(知 事)

西日本とはやはり違うと思う。

また、地域にはそれぞれイメージがある。山梨に行った際、「やまなし」ということで

なんとなく「山がない」というようなイメージを抱いていたが、東京からそう離れていないところでも、あっという間に山があった。

(A 氏)

私は山梨県上野原市の親戚に会いに行ったことがあるが、凄く長いエスカレーターを散々上り下りした。凄い山だと思った。

(F 氏)

「コモア・ブリッジ」という200mぐらいあるエスカレーターである。山梨にはほとんど山しかない。

(知 事)

比べると秋田は真っ平らである。そして山の方には人が余り住んでいない。

(F 氏)

秋田は自転車が使えるのが良い。山梨では行きは良くても帰りが大変である。

(E 氏)

きのこの種類が多いと思う。また、驚くほど納豆が安い。

(知 事)

納豆は秋田が発祥の地であるからだ。他に、いわゆる観光地というところには行ったか。

(E 氏)

男鹿の水族館は、崖の下にあり凄い威圧感があった。そこでシロクマを見たが、大きいし、餌を探す出し物のようなものも初めて見た。山形にはクラゲで有名な加茂水族館があるが本当にクラゲだけしかない。

(C 氏)

少し前に祖母が秋田に遊びに来た際に、車で田沢湖のたつこ像を見に行った。

(知 事)

今の実習棟は以前は米蔵で、そのまま改造したものである。だから非常に趣がある。皆さんの1日の過ごし方はどうなのか。今はどういう授業を受けているのか。

(A 氏)

美術史と座学が中心。少し前からテラコッタの実習をしている。

(B 氏)

他の大学のように最初から彫刻や油絵などの専攻に分かれておらず、全員ほぼ同じ授業を受けてる。

(知 事)

一般的な外国語だとかはやっているのか。

(F 氏)

英語だけやっている。一般教養のような理科、数学の類いはない。

(A 氏)

英会話と中国語、韓国語は選択で、やりたい人がやっている。英語は必修である。

(知 事)

ここの大学は韓国の仁川の美術大学と提携しており、交流がある。

(A 氏)

付属高校のときに、提携している韓国の仁川の学校に行ったことがある。

(E 氏)

自分の高校でも韓国に姉妹校があり、韓国の人たちが山形に来たりしていた。

(知 事)

日本海側は割と韓国やロシアが近い。

(D 氏)

自分の高校にはロシアの人たちが来ていた。

(知 事)

他の学校との交流はまだしていないか。秋大、県立大、ノースアジア大や国際教養大があるが、何か全体の大学の交流会のようなものはあるのか。

(F 氏)

あると思う。案内は来るがサークルにたくさん入っていると大変だ。

(C 氏)

ロックダンスのサークルで一緒に練習するような形だが、少しだけ交流をしている。

(知 事)

この周辺では遊ぶところはあるか。プライベートな時間はどうしているのか。

(E 氏)

大学の近くにカフェか何かがあれば良いと思う。コンビニぐらいしかない。

(知 事)

確かに周辺にはそういう店がないようだ。新屋駅までは近いので秋田駅前へは電車で行くのか。

(F 氏)

電車を待つのが面倒な場合は自転車で秋田駅前まで行けるし、この方が早い場合もある。

(B 氏)

秋田駅前周辺の店は閉店時間が早いため、映画やバイトに行ってから終電を待つまでの時間を潰すのが難しい。

(A 氏)

高校時代、制作の期間は帰る時間が遅くなるため、夕方7時か8時に新屋駅から電車に乗って秋田駅で乗り換えをするが、カフェも8時で閉まるため、ホームで待っていることがよくあった。今も10時にバイトが終わるが、11時の電車が来るまでホームで待っている。

(E 氏)

秋田駅前には空き店舗などがあるので、ふらっと寄れるところがあればいい。

(A 氏)

隠れた小さい店が秋田は多い。檜山辺りには雑貨屋など、看板も出てないような店が結構ある。普通に通っただけでは全然気がつかないが、入ってみると良いものがたくさんある。

(知 事)

美大にはまだ竿燈のサークルはないか。

(大学事務局)

期間がなくて間に合わなかった。来年はできるように是非頑張りたい。

(知 事)

竿燈は全部の大学でやっている。県立大の竿燈クラブは毎日練習をしていて凄く上手。やはり美大にもつくって欲しい。

ボランティアなどに興味はあるか。

(F 氏)

今日も栗田養護学校のボランティアの説明会に行ってきたところである。

(D 氏)

KAMIKOANIプロジェクトや、近くの桜のある排水路（大川端带状近隣公園）の掃除にも参加した。

(C 氏)

ボランティア活動等を通じ、地域の方と話をすることで新しい作品をつくるきっかけにもなるので凄く楽しい。

(知 事)

皆さんはまだ1年生だが、秋田のまちづくりや街の賑わい創出といった面で、周囲から寄せられている期待が非常に大きい。秋田には文化的、歴史的な蓄積もあるし古い建物もある程度あると思うが、新しい感性のものがないため、そういう意味で期待されている。

ボランティアのような形ではあるが、他の大学と違って、ダイレクトに地域貢献できる

ものを持っている。よくいろいろなポスターを美短の学生にお願いしてつくってもらっているが、良いものはオフィシャルに採用したりしたので、皆さん方も努力して、良い成果を上げていただきたい。

卒業後のことについて、一つの組織の中で仕事をするということだけではなく、場合によってはベンチャー的に、自ら起業して自分の仕事を一人でやるというような職種もある。特に、伝統工芸は非常に根気の要る仕事であり、関わるとすればすごい蓄積が必要となるので、大学の4年間でそのための基礎や本当の意味の技術を高めなければならない。一定の時期には、将来の自分の人生設計をする上で何になりたいということが必要になるが、大いに悔いのない学園生活を送り、少しでも秋田の思い出を心にとどめていただければ嬉しく思う。

(終了)